

2026年8月13日

上場会社名 原田工業株式会社
コード番号 6904 URL <https://www.harada.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三宅 康晴

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 森本 浩史

TEL 03-3765-4321

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	11,387	12.5	1,634	79.7	1,611	74.2	1,252	86.5
2026年3月期第1四半期	10,124	9.4	909	33.1	924	41.1	671	100.0

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 1,623百万円 (—%) 2026年3月期第1四半期 250百万円 (123.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	59.22	—
2026年3月期第1四半期	31.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	36,237	15,174	41.9	717.41
2026年3月期	35,843	13,709	38.2	648.15

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 15,174百万円 2026年3月期 13,709百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	7.6	2,000	16.6	1,700	26.4	600	38.3	28.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2027年3月期1Q	21,758,000 株	2026年3月期	21,758,000 株
2027年3月期1Q	606,068 株	2026年3月期	606,068 株
2027年3月期1Q	21,151,932 株	2026年3月期1Q	21,151,932 株

期末自己株式数

期中平均株式数 (四半期累計)

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、生成AIをはじめとするデジタル関連投資の拡大や米国の底堅い消費、日本国内の雇用・所得改善などに支えられ、総じて緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で世界の経済環境は、米国の通商政策や中東地政学リスクに伴う不透明感、中国経済の停滞などに加え、米国ではインフレを警戒した金利の据え置き、6月には日本と欧州で追加利上げが実施されるなど、先行きに対する不確実性は一段と高まっております。

当社グループの属する自動車業界におきましては、米国の通商政策による影響に加え、地政学リスクに伴うコスト上昇圧力による需要下押し懸念なども加わり、依然として厳しい事業環境が続いております。

当社グループは、中長期的な視点で「CASE（コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化）への積極的な対応」及び「モビリティの多様化への対応」を二つの大きな経営の方向性と定めました。また、当社グループの目指す姿を「当社は、車載アンテナのトップ企業であり続けます。CASE及びモビリティの多様化に積極的に対応し、周辺事業・新規事業を拡大させ、収益基盤を確立します。」とし、CASEとモビリティの多様化が実現する豊かなモビリティライフへの貢献を目指してまいりました。

その中で、足元の厳しい経済・事業環境に鑑み、「CASEへの対応等による、トップラインの拡大」、「コスト構造改革による、コスト体質の強靱化」、「B/Sのスリム化による収益改善・財務体質改善」を強力に推進する「収益構造改革」に注力して取り組んでまいりました。

こうした状況の中、当第1四半期連結累計期間における売上高は、主要市場の販売台数が減少しているものの、販売活動の強化等に取り組んだ結果、113億87百万円（前年同期比12.5%増）となりました。利益面については、材料費や労務費の高騰等により大変厳しい状況が続いておりますが、「収益構造改革」に集中して取り組んだ結果、営業利益は16億34百万円（前年同期比79.7%増）、経常利益は16億11百万円（前年同期比74.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、12億52百万円（前年同期比86.5%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①日本

日本市場における自動車生産台数は横ばいであるものの、拡販活動等により、外部売上高は47億96百万円（前年同期比11.2%増）、セグメント間の内部売上高は4億68百万円（同33.2%増）となりました。営業利益は、原価率の低下等により、3億64百万円（同9.9%増）となりました。

②アジア

アジア市場における自動車生産台数は減少したものの、拡販活動等により、外部売上高は18億49百万円（前年同期比23.7%増）、セグメント間の内部売上高は51億63百万円（同5.7%増）となりました。営業利益は、収益構造改革の一環として実施した中国子会社の機能再編効果による原価率の低下等により、8億54百万円（同38.5%増）となりました。

③北中米

北中米市場における自動車生産台数は横ばいであるものの、拡販活動等により、外部売上高は35億64百万円（前年同期比15.1%増）、セグメント間の内部売上高は7百万円（同43.4%減）となりました。営業利益は、原価率の低下等により、2億63百万円（同448.0%増）となりました。

④欧州

欧州市場における自動車生産台数は横ばいであり、外部売上高は11億77百万円（前年同期比3.3%減）、セグメント間の内部売上高は2億12百万円（同38.7%増）となりました。営業利益は、原価率の低下等により、3億19百万円（同346.4%増）となりました。

なお、セグメントの売上については外部顧客に対する売上高とセグメント間の内部売上高を記載しております。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は270億49百万円（前連結会計年度末266億51百万円）となり、3億98百万円増加いたしました。これは主に「その他」が6億26百万円、「商品及び製品」が1億66百万円減少したものの、「現金及び預金」が7億68百万円、「原材料及び貯蔵品」が3億92百万円増加したことによるものであります。固定資産は91億88百万円（前連結会計年度末91億91百万円）となり、3百万円減少いたしました。これは主に「投資その他の資産」が24百万円増加したものの、「有形固定資産」が28百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は362億37百万円（前連結会計年度末358億43百万円）となり、3億94百万円増加いたしました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は196億6百万円（前連結会計年度末206億64百万円）となり、10億58百万円減少いたしました。これは主に「短期借入金」が8億40百万円、「支払手形及び買掛金」が2億25百万円減少したことによるものであります。固定負債は14億57百万円（前連結会計年度末14億68百万円）となり、11百万円減少いたしました。これは「退職給付に係る負債」が31百万円増加したものの、「その他」が42百万円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は210億63百万円（前連結会計年度末221億33百万円）となり、10億70百万円減少いたしました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は151億74百万円（前連結会計年度末137億9百万円）となり、14億64百万円増加いたしました。これは主に「利益剰余金」が10億93百万円、「為替換算調整勘定」が3億27百万円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期通期の連結業績予想につきましては、2026年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,982,965	7,751,006
受取手形、売掛金及び契約資産	5,399,718	5,534,822
商品及び製品	5,354,450	5,188,115
仕掛品	940,687	839,943
原材料及び貯蔵品	5,751,290	6,143,415
その他	2,285,080	1,658,238
貸倒引当金	△62,650	△65,842
流動資産合計	26,651,541	27,049,698
固定資産		
有形固定資産	5,613,859	5,585,654
無形固定資産	65,659	65,875
投資その他の資産		
その他	3,524,262	3,549,184
貸倒引当金	△12,195	△12,420
投資その他の資産合計	3,512,067	3,536,764
固定資産合計	9,191,585	9,188,294
資産合計	35,843,126	36,237,993
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,313,175	2,088,026
電子記録債務	709,760	646,680
短期借入金	14,067,329	13,226,565
未払法人税等	495,419	566,711
賞与引当金	409,725	506,658
役員賞与引当金	24,000	9,000
その他	2,645,535	2,562,636
流動負債合計	20,664,944	19,606,278
固定負債		
退職給付に係る負債	697,610	729,062
その他	770,946	728,107
固定負債合計	1,468,557	1,457,170
負債合計	22,133,501	21,063,448
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,019,181	2,019,181
資本剰余金	1,859,981	1,859,981
利益剰余金	6,846,708	7,940,584
自己株式	△302,485	△302,485
株主資本合計	10,423,386	11,517,261
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	206,042	256,778
為替換算調整勘定	2,949,820	3,277,366
退職給付に係る調整累計額	130,375	123,137
その他の包括利益累計額合計	3,286,238	3,657,282
純資産合計	13,709,624	15,174,544
負債純資産合計	35,843,126	36,237,993

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
売上高	10,124,691	11,387,525
売上原価	7,520,118	7,914,672
売上総利益	2,604,572	3,472,852
販売費及び一般管理費	1,694,733	1,838,102
営業利益	909,838	1,634,750
営業外収益		
為替差益	65,210	13,617
その他	31,562	32,433
営業外収益合計	96,773	46,050
営業外費用		
支払利息	72,139	60,860
その他	9,664	8,651
営業外費用合計	81,804	69,512
経常利益	924,807	1,611,288
特別利益		
固定資産売却益	18	117
特別利益合計	18	117
特別損失		
固定資産除却損	478	1,999
その他	44	23
特別損失合計	522	2,023
税金等調整前四半期純利益	924,303	1,609,382
法人税、住民税及び事業税	206,687	267,939
法人税等調整額	46,077	88,927
法人税等合計	252,765	356,867
四半期純利益	671,538	1,252,515
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	671,538	1,252,515

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
四半期純利益	671,538	1,252,515
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,850	50,736
為替換算調整勘定	△937,010	327,545
退職給付に係る調整額	12,823	△7,238
その他の包括利益合計	△922,335	371,044
四半期包括利益	△250,797	1,623,559
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△250,797	1,623,559
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産にかかる償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
減価償却費	322,413千円	306,805千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北中米	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	4,314,888	1,495,453	3,096,412	1,217,937	10,124,691	—	10,124,691
セグメント間の内部売上高又は振替高	351,819	4,886,561	13,698	152,981	5,405,061	△5,405,061	—
計	4,666,708	6,382,014	3,110,110	1,370,918	15,529,752	△5,405,061	10,124,691
セグメント利益	332,027	617,107	48,078	71,665	1,068,879	△159,040	909,838

（注）1. セグメント利益の調整額△159,040千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北中米	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	4,796,917	1,849,326	3,564,017	1,177,263	11,387,525	—	11,387,525
セグメント間の内部売上高又は振替高	468,709	5,163,670	7,758	212,184	5,852,322	△5,852,322	—
計	5,265,626	7,012,997	3,571,776	1,389,447	17,239,848	△5,852,322	11,387,525
セグメント利益	364,958	854,398	263,491	319,924	1,802,772	△168,022	1,634,750

（注）1. セグメント利益の調整額△168,022千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。